

MCR 学級 子育て講座 報告

MCR 学級 子育て講座を下記の通り開催いたしました。内容は以下の通りです。

1 日程

令和5年6月27日(火) 10:00~12:00 アートスポットまつど

2 内容

(1) 開会 白井社会教育課長 挨拶

(2) 研修

講演会 10:10~11:40

演題 「子どもの自己肯定感を育む言葉かけ」

講師 親業訓練シニアインストラクター

親業訓練協会ヒューマンリレーションニュース編集員

コミュニケーションサークルはれぼか代表

子ども食堂はなしまみんなでごはん運営メンバー

駒崎 晴世 先生

(3) 質疑応答

(4) 閉会

3 参加者

当日参加者 73名 一時預かり利用者 5名

4 概要

松戸市や都内を中心に、互いに理解し合い、尊重し合うコミュニケーション方法「親業」を広めることで、子ども達の健やかな成長を見守る環境づくりと、人と人が心を通い合わせられる地域、社会づくりを目指し、講座、説明会、研修会、講演会、執筆活動に取り組んでいる、駒崎晴世先生を講師にお迎えし、「子どもの自己肯定感を育む言葉かけ」という演題で講演会を開催しました。当日の参加者は70名を超え、社会人と大学生の3人の子を持つ母親でもある先生の経験を踏まえた話に参加者も熱心に耳を傾けていました。

「自己肯定感とは」という話題から始まり、自己肯定感を高めることが自主・自立につながるというお話がありました。

また、ロールプレイングを行い、体験しながら考える場面も多く「子どもが『テスト、60点だったよ…』といいました。子どもになんといいますか?」という問いに対し、親が言いがちな対応(お決まりの12の型)を子どもの立場で聞くことによって、自分を振り返る時間となっていました。さらに、親(自分)が困っている時は「わたしメッセージ」で相手(子ども)に伝えることも必要であることを示唆していただきました。「能動的な聞き方」の必要性、事例などもお話いただき、具体的でわかりやすい講演という声も多く聞かれました。

参加した学級生からは、「実際の声掛けを体験できて、子どもの気持ちを感じられたのが良かった。ついつい言ってしまっている言葉でもこんな風に聞こえていたんだ…と反省することもありました。」「自分が子どもの頃、いやな思いをしてきたのにそれを忘れて同じように接していたのはショックだった。」「一気に変わるか、とても自信がないのですが今回を機に少しでも変われたらなと思っています。チャレンジしてみます。」「あなた目線で伝えるのではなく、わたし目線で伝えるのが大切」など参加者は今後活かそうという姿勢が多くみられました。今後、社会教育課としても子育てに関する講座の持ち方や内容をさらに検討し、よりニーズに答えるものにしていきたいと思っております。

